

民の働く場の確保はもとより、税収増加など、将来にわたる地域経済の成長発展に向け、県と連携した企業誘致活動を進めるとともに、地方都市にとって共通で難しい課題となっている人材の確保策への挑戦を続けていきます。



茨城中央工業団地 笠間地区に立地する企業
(昨年操業した株式会社オータマ・株式会社トンボ東京物流センター)

◆「笠間の栗」ブランド力の強化

「笠間の栗」のブランド化を進め、将来にわたる持続発展させていくためには、「質」と「量」、そして「人材」の確保が重要となってきます。

本年は、笠間の栗の「むき手」の養成・確保、技術継承に向けた「むき手マイスター養成講座」の実施と連動した事業者とのマッチング、農地集積や栽培技術の向上、更には水田畑地化

による栗畑への転換にも挑戦し、栗の生産拡大に取り組んでいきます。

◆観光誘客促進・台湾交流による地域の活性化

■観光誘客促進による所得向上

人流の回復や茨城DCの反響を著実な誘客につなげ定着させていくため、「食」や「体験」を核とした新たな観光ツールを創出します。同時に、台湾をはじめとする海外インバウンド需要の拡大も視野に、宿泊施設の開業を目指すなど、国内外からの観光誘客を促進し、本市のゲートウェイである「道の駅かさま」を拠点として回遊性を生み出し、市内各所にその効果を波及させることで関連事業者等の所得向上を目指してまいります。

■台湾交流の強化

笠間台湾交流事務所が開設5周年を迎えた昨年、市では、「台北市」をはじめ「銘傳大学」および「台北城市科技大学」と連携協定を締結するなど、本市と台湾の交流関係を一層強固なものとなりました。

これを機に本年は、これまでの観光を軸とした交流のほか、産業、教育、スポーツなどの分野において、人材を中心とした相互交流を促進します。

語学交流や短期研修、留学、更には台湾学生のインターンシップの受け入れなど、取り組みを本格化し、次世代

を担う子どもたちをはじめ、グローバル社会で活躍できる人材育成を図っていきます。



道の駅かさま



観光客で賑わう笠間稲荷門前通り

◆物価高騰対策・都市基盤整備の加速化（経済対策等補正予算の成立）

市では、国の経済対策に対応した市の物価高騰対策等を盛り込んだ補正予算（10億868万8千円）について、昨年12月に開催された第4回定例会に提案し、市議会の承認をいただきました。市民の日常生活と事業者の経済活動を守るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した各種物価高騰対策等を実施します。

■低所得世帯支援（国施策）

低所得世帯支援（住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり7万円）について、今月下旬を目途に、確認書を発送し、順次、1世帯当たり7万円を給付します。

■民生委員・児童委員活動に対する経済的支援（市独自対策交付金）

民生委員・児童委員の方々が、地域住民の状況把握や高齢世帯への訪問・見守り活動で使用する自家用車の燃料費について、価格高騰により、自費負担の発生が見込まれることから、委員1人当たり1万2千円の費用弁償相当による追加支援を行います。

■市内子ども食堂運営支援（市独自対策交付金）

子どもが安心して過ごせる居場所を確保するため、継続した安定運営に向けた支援として、市内子ども食堂運営団体に対し、1団体当たり10万円を上限に補助します。

■笠間プレミアム商品券の発行（市独自対策交付金）

物価高騰の影響を受けている市民生活と売り上げの減少が懸念される市内事業者の双方の支援につながるように、プレミアム率20パーセントの商品券を4万冊、総額4億8千万円分を2月に発行します。

家計負担を緩和し、地域内の消費を喚起することで、地域経済の活性化を促進します。

■児童生徒の通学用ヘルメット購入費全額助成（市独自対策交付金）

令和6年度に市内小中学校等で、新たに通学用ヘルメットを購入する児童生徒の保護者に対し、これまでの購入費の一部助成2千円に上乘せし、全額補助とすることで、通学時の安全確保はもとより、子育て世帯の経済負担の軽減を図ります。

■都市基盤強化事業の加速化（国庫補助）

国の補正予算を受けて「（仮称）笠間PA スマートIC」や「（仮称）鯉淵南友部線」、「安居工業地域」の整備をはじめ、道路橋梁の修繕工事等の各種ハード事業を推進し、広域的な要素も含め、都市機能を強化していきます。

以上、本年のまちづくりへの抱負の一端を述べさせていただきました。

「笠間の未来を創る」ため、さまざまな地域課題の解決に向け、果敢に挑戦するとともに、行政経営基盤の強化に向け行財政改革を推進し、市政運営に取り組んでまいります。

結びに、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとって希望に満ちた年になりますよう心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。